

● 接種時の持ち物 ●

- 健康保険証など住所、氏名、生年月日が確認できるもの
- 母子健康手帳(持っている方)
- 2回目以降の接種の場合、前回の接種がわかるもの
接種した記録(母子健康手帳または接種済証)は大切に保管し、次回の接種時に忘れずに持参してください。



● 留意事項 ●

▶ 接種について

- 平成23年1月16日以前に接種したものについては、全額助成の対象にはなりません。
- 市内に住んでいても、住民登録または外国人登録が苫小牧市にない場合は助成の対象にはなりません(DVなど特別な事情がある方はお問い合わせください)
- 入院などの理由により、やむを得ず市外で接種する場合は、必ず事前に健康支援課までご連絡ください。

▶ 接種前について

- 接種には原則保護者の同伴が必要です。
保護者が事前に署名した予診票を接種当日に持参した場合に限り、子宮頸がん予防ワクチンに関しては、保護者の同伴なしでも接種できます。
- 予防接種は体調の良い時に受けましょう。(体温が37.5以上の場合などは接種できません)

▶ 接種後について

- 接種後30分間は、まれに急な副反応が生じる可能性がありますので、接種機関で様子を見るか接種機関とすぐに連絡を取るようにしておきましょう。(子宮頸がん予防ワクチンは特に注意が必要で、接種機関にて30分程度座らせるなどが望ましい)
- 接種当日の激しい運動は避けましょう。
- 接種当日の入浴はできますが、接種部位をこすらないように注意しましょう。

▶ その他

- 子宮頸がん予防ワクチンは筋肉注射です。また、妊娠中、妊娠の可能性のある方、授乳中の方は接種を控えてください。
- 詳細は健康支援課にお問い合わせいただくか、ホームページをご覧ください。



● 実施医療機関一覧 ●

所在地	病・医院名	電話番号	子宮頸がん	ヒブ	小児用肺炎球菌	所在地	病・医院名	電話番号	子宮頸がん	ヒブ	小児用肺炎球菌
明野新町	苫小牧東病院	55-8811				大成町	やまざきこども医院	75-1133			
"	苫小牧泌尿器科・循環器内科	57-0455				拓勇東町	とまこまい北星クリニック	57-8000			
"	松沢クリニック	57-7171				東開町	さくらファミリークリニック	55-6526			
旭町	沖医院	32-8870				"	浪岡内科消化器科クリニック	51-2811			
有珠の沢町	川村クリニック	74-5577				ときわ町	いちむら小児科医院	67-1111			
音羽町	合田内科小児科医院	33-9208				豊川町	三好内科胃腸科クリニック	75-7711			
川沿町	すえくに医院	72-8385				日新町	たかやなぎ小児科	71-2115			
"	横山内科消化器科	74-0011				"	にっしん耳鼻咽喉科クリニック	71-1000			
"	吉田内科医院	73-6233				双葉町	いまい内科クリニック	37-8686			
桜木町	桜木ファミリークリニック	71-2351				"	双葉外科医院	32-5470			
"	柴田内科循環器科	71-2225				北栄町	レディースクリニックぬまのはた	53-0303			
"	百村産婦人科医院	72-1153				北光町	福岡内科小児科	72-5141			
清水町	苫小牧市立病院	33-3131				本町	阿部内科医院	36-0066			
"	苫小牧緑ヶ丘病院	34-4761				緑町	岩城産婦人科	38-3800			
しらかば町	川口小児科医院	73-0500				"	加藤胃腸科内科クリニック	35-2125			
"	すがわら内科呼吸器科	76-7011				"	田辺産婦人科医院	32-2296			
新中野町	苫小牧耳鼻咽喉科クリニック	34-4133				宮前町	錦岡医院	67-0013			
"	みなかみ医院	32-2335				元中野町	とよた腎泌尿器科クリニック	31-2000			
澄川町	苫小牧澄川病院	67-3111				矢代町	苫小牧日翔病院	72-7000			
住吉町	とまこまいこどもクリニック	33-1050				弥生町	とまこまいレディースクリニック	73-5353			
青雲町	方安庵青雲町クリニック	61-5555				勇払	日本製紙北海道工場勇払診療所	56-1576			
大成町	藤澤産婦人科	72-5301				若草町	王子総合病院	32-8111			

予約が必要になる場合がありますので、事前に接種を希望する医療機関にお問い合わせください。



3 ワクチンの接種料金を全額助成します！！

子宮頸がん予防ワクチン、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンの接種料金助成

詳細 健康支援課 ☎32-6407 <http://www.city.tomakomai.hokkaido.jp/> で健康支援課 検索



1月17日から3ワクチンが無料で接種できます！

すべてのワクチンは任意接種となります。保護者の方は、接種する前に医療機関に備え付けの説明書をお読みいただき、接種するかどうかを決めてください。

● 助成期間 ●

1月17日～平成24年3月31日



子宮頸がん
予防ワクチンとは？

子宮頸がんを引き起こす主な原因と言われる、発がん性ヒトパピローマウイルス(HPV)の感染を予防するワクチンです。
このワクチンを接種することで、すべてのHPVの感染を予防することはできませんが、子宮頸がん患者の6割に発見される16型・18型のHPVの感染を予防することができます。



ヒブワクチンとは？

細菌性髄膜炎を引き起こす主な原因と言われる、ヒブ(インフルエンザ菌b型)の感染を予防するワクチンです。
細菌性髄膜炎の6割はヒブが原因と言われており、細菌性髄膜炎を発症すると、命を落としたり、発育障がいや聴力障がいなどの重い後遺症を引き起こす恐れがあります。



小児用肺炎球菌
ワクチンとは？

肺炎球菌はヒブに次ぐ細菌性髄膜炎の原因菌です。小児用肺炎球菌ワクチンは7つの形の肺炎球菌に対応しており、これによる感染症(髄膜炎、肺炎など)を予防するワクチンです。
ヒブ、肺炎球菌とも抗生物質の効かない菌(耐性菌)が増えてきており、感染症の予防がとても重要になります。



● 接種対象者・接種回数 ●

▶ ワクチン名	▶ ワクチン名	▶ ワクチン名
子宮頸がん予防ワクチン (不活化ワクチン)	ヒブ(インフルエンザ菌b型) ワクチン(不活化ワクチン)	小児用肺炎球菌ワクチン (不活化ワクチン)
▶ 接種対象者(注1)	▶ 接種対象者(注1)	▶ 接種対象者(注1)
●13歳になる日の属する年度の初日から16歳になる年度の末日までの間にある女性 中学1年生～高校1年生に相当する年齢の女性(注2)	●接種日において、生後2か月以上5歳未満の乳幼児	●接種日において、生後2か月以上5歳未満の乳幼児
▶ 接種回数	▶ 接種回数	▶ 接種回数
●3回	●初回接種時、生後2か月以上7か月未満=4回 ●初回接種時、生後7か月以上1歳未満=3回 ●接種時1歳以上5歳未満=1回	●初回接種時、生後2か月以上7か月未満=4回 ●初回接種時、生後7か月以上1歳未満=3回 ●初回接種時、1歳以上2歳未満=2回 ●接種時2歳以上5歳未満=1回

注1: 接種日時点、苫小牧市に住民登録または外国人登録のある方に限る。

注2: 高校1年生に相当する年齢の方で、平成23年3月31日までに1回または2回接種した場合は、来年度(高校2年生相当)においても、残りの回数が助成対象になります。ただし、急性疾患などの理由により、1回も接種できなかった場合はお問い合わせください。

